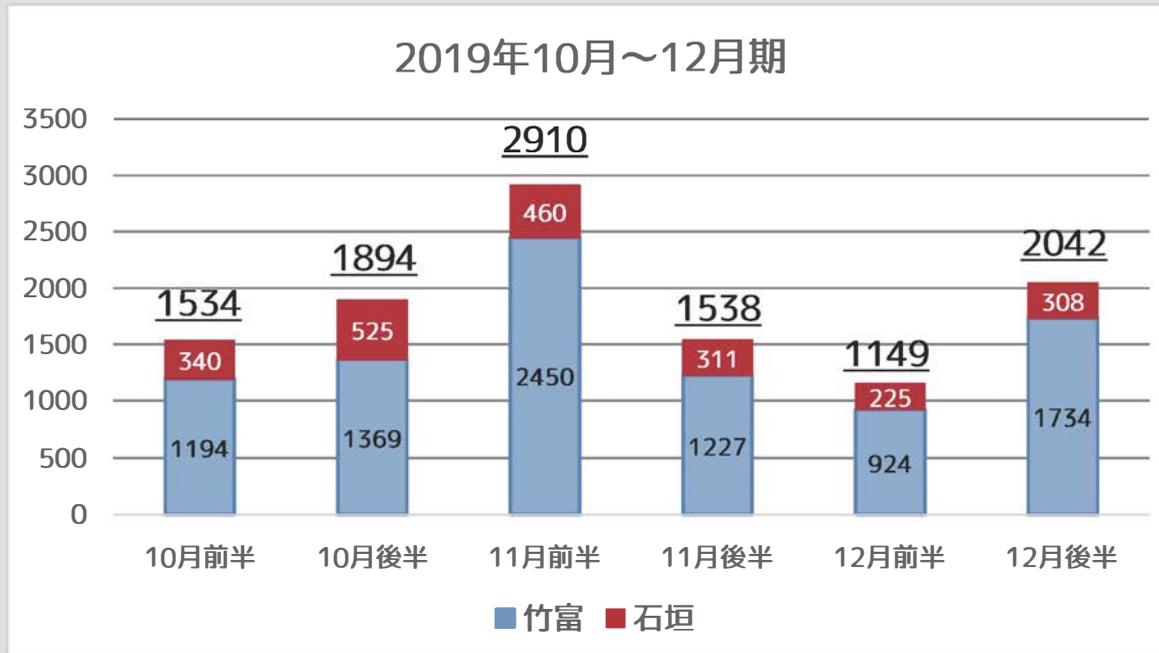


06 10～12月期入島料收受実績

2019年10月期～3ヶ月間の入島料收受実績は下記ようになります。

(10月期：3,428名 / 11月期：4,448名 / 12月期：3,191名)

今後とも収受率UPのため、ご協力をよろしくお願いいたします。



お知らせ

入島料收受開始の2019年9月1日より行っていた入島券のネーミング募集ですが厳正なる審査の結果、「伊藤祐介」様と「さかいまさゆき」様からご応募いただきました『うつぐみチケット』に決定いたしました。

このチケットを購入していただく事で人と人との繋がりがりや支えあい、そして島の自然に対する感謝や敬意を感じて頂き、竹富島が将来どうあるべきなのか？を考えてもらえるきっかけになれば幸いです。



© Maehara Motoo

竹富島では、そんなに遠くない昔。あまり便利とは言えないけれど自然体で暮らせる心豊かな時代がありました。

私たちは入島料で、島がいつの間にか失ってしまったもの、忘れてしまったものを取り戻すべく活動を進めてまいります。

01 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。華やかな庚子の年を迎えるにあたり、皆様方におかれましては健やかに過ごしの事とお慶び申し上げます。

昨年は、これから竹富島で語り継がれるであろう節目の一年となりました。地域自然資産法に基づく入島料の収受を開始し、島の未来を次世代へ継承するため受入れ組織の一般財団法人竹富島地域自然資産財団を設立しました。初年度はまずは形づくりです。これからは島民の竹富島に対する想いを具現化し、形にシユムグクルを注いでまいります。昨年同様、本年も試行を模索する一年になると存じますが、多くの皆さま方からのご支援やご協力を賜わりながら、ひとつずつ歩んでまいります。本年もよろしくお願い申し上げます。

令和2年1月
理事長 上勢頭 篤



02 耕作放棄地の再生

耕作放棄地の再生プロジェクトが開始しました。まずは竹富島の農業スタイルを学ぶため、前本隆一さんに手ほどきを受けながら、ピンの植え付けなどを行いました。適した季節、土地の作り方から植え付けの間隔など話を聞きながら実際に作業をすることで、確実に財団の力として培っており、今後の再生プロジェクト継承に繋げていきます。



03 海浜清掃（調査）

3集落で担当区分のないカイジ浜～カンナージまでの海岸清掃を行うため、漂着ゴミの種類と量の調査を行いました。特に防砂林エリアの鞍部に想定以上のゴミが溜まっており今後、事業者や住民の皆さまにご協力いただき清掃計画を進めていきます。



04 防風林の植樹

集落をグルリと1周するがんじゅ道の一部、西集落に面した道路沿い約500mに、防風林として活用できるようフクギの苗31本を植え付けしました。フクギの苗は株式会社先島ガス玉盛守雄社長からNPOたきどうんへ寄贈されたものを使用させていただきました。



05 インバウンド対応強化

年々増え続ける外国人観光客にも分かりやすいよう財団HPの英語版を開設しました。今は簡易版ですが、今年度中の詳細版公開を目指しています。（HOMEより入れます。）
また安栄観光のご協力により高速船の座席ポケットに入島料に関する3カ国語リーフレットを設置させていただきました。

竹富島 財団

